

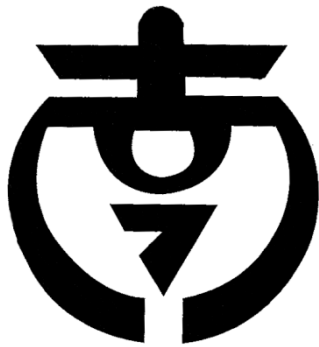
南富良野町

第8次社会教育中期計画

(令和5年度～令和9年度)



南富良野町教育委員会



町章

南富良野町の南の中に、フラノのフの字を包含し、金山ダムと町の地形からくる円やかさを形象化しながら、全体として町の上昇発展を表現しています。

町民憲章

わたしたちは、太陽と森と湖のまち南富良野の町民です。先人の開拓精神を受け継ぎ、太陽のようにあたたかく、森のようにたくましく、湖のように清く豊かな夢と希望にあふれるまちをつくります。

1. 健康と安全に努め、明るい家庭を築きましょう。
1. 勤労を尊び、社会に貢献する自分を磨きましょう。
1. 感謝と思いやりの心を持ち、豊かな自然を生かしましょう。
1. 知性を高め、郷土に根ざす文化のまちをつくりましょう。

はじめに

南富良野町の社会教育の振興にあたり、日頃から関係各位のご協力を頂きながら着実に進めていくことができましたことに、衷心より感謝を申し上げます。

また、南富良野町第7次社会教育中期計画（平成30年度～令和4年度）の推進に多大なご協力を頂き、かつ、南富良野町第8次社会教育中期計画（令和5年度～令和9年度）の立案に携わって頂いた社会教育委員の皆様にご心から敬意を表します。

今、社会教育に求められている役割は非常に大きく、社会情勢が急激に変化していく中において社会教育の抱える課題は多様化してきており、地域の教育力を家庭や学校で活用しようとする動きが表れてきています。

このような中、町民一人ひとりが心身ともに健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会や場所において学習することができ、その学んだ成果を適切に生かすことができる環境づくりや人材育成が必要です。

本計画は、これまでの課題を洗い出し、事業の点検・評価を行い、社会教育の現状を踏まえた上で、第6次南富良野町総合計画における「豊かな学びと生きがいを実感できるまち」を具体的に進めるための道標となっています。

今回、社会教育委員の皆様から答申を頂いた計画を策定する運びとなったところですが、こうした社会の要請を十分に反映した計画となっているものと考えており、今後はこの計画を着実に前進させてまいります。

本計画の目指す目標に向かって、関係各位と町民の皆様の益々のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年3月

南富良野町教育委員会

教育長 **鈴木 誠**

南富良野町第8次社会教育中期計画策定にあたって

南富良野町の社会教育推進のための「南富良野町第8次社会教育中期計画」策定が、各委員や関係者のご協力の中、無事終了いたしましたことを厚くお礼申し上げます。

本計画策定にあたっては、教育委員会からの諮問を受け、策定作業を行いました。

その中で、コロナ禍における現状を的確に受け止め、まずは策定委員自らが本町の現状と課題を抽出し、深く分析するとともに、今後の南富良野町の目指すべき姿を検討することで、本計画は、確実に実践できる計画でなければ意味がないということを実感することができました。

今後は、今回策定した社会教育中期計画が、いかに地域に根付いたものとして展開されていくかが問われてきます。それにはより細やかな年度ごとの計画が必要であり、社会教育委員やスポーツ推進委員と教育委員会職員、各分野で能力を発揮される方々がお互いに協力、連携し合って、よりよい事業を進めていくことが必要となってきます。

町民一人ひとりが社会教育の必要性を感じていただき、自ら行動していただけることを願うとともに、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。南富良野町第8次社会教育中期計画策定にあたってのことばといたします。

令和5年3月

南富良野町社会教育委員の会

委員長 **佐藤 秀博**

目 次

町章、町民憲章

南富良野町教育委員会教育長あいさつ

南富良野町社会教育委員の会委員長あいさつ

第1章 計画策定の目的と位置づけ	1
1 計画の目的と意義	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画期間	2
4 計画の策定方法	2
第2章 南富良野町の現状と課題	3
1 地域の現状	3
2 生活課題	5
第3章 前期計画の評価・検証	6
第5次社会教育中期計画の評価と検証	6
第4章 基本理念と目標	14
1 基本理念	14
2 計画の目標	15
・計画の目標	
・計画の体系	
第5章 計画の推進に向けた取り組み	17
1 家庭教育	17
2 青少年教育	19
3 成人（成年）教育	21
4 高齢者教育	23
5 芸術文化の振興	25
6 体育の振興	28
資料編	31
南富良野町第8次社会教育中期計画アンケート結果	31
諮問書	38
答申書	39
第8次社会教育中期計画策定委員会	40

第1章 計画策定の目的と位置づけ

1 計画の目的と意義

今日、国際化・情報化のさらなる進展や技術革新による生活の利便性向上など、社会が成熟する中で、教育を取り巻く環境は大きな変化を見せており、核家族化、少子化による家庭・地域の教育力の低下や、個人のモラルや規範意識の低下などが地域社会の課題として指摘されています。

そうした中において国は、将来に向かって新しい時代の教育の基本理念を明確にし、未来を切り拓く教育を実現するため、平成18年12月に教育基本法を改正、第3条に「生涯学習の理念」と、第13条に「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」を新たに規定しています。

本町における社会教育の推進は、第7次社会教育中期計画（平成30年度～令和4年度）に沿い、いつでも、どこでも、だれもが学習できる体制の構築と学んだ成果の活用機会の充実を推進することにより、教養を積み視野を広げ、文化・スポーツ活動等への積極的な参画や実践が図られるなど、生涯学習に対する関心の高まりとともに活動の幅を広げています。

今後も町民の生きがいをより一層充実させるための方策に引き続き取り組むとともに、社会教育・生涯学習に関する町民の要望や地域社会の要請などに応じ、魅力ある学習機会を提供する必要があります。

こうしたことから、本計画は「第7次社会教育中期計画」における課題と本町における社会教育の現状を踏まえ、町民の生きがいを創出し、望ましい人づくりや地域づくりに寄与することを目的として、今後5年間に取り組むべき推進方策を探り策定するものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、「南富良野町第6次総合計画」に基づいた社会教育のマスタープランであり、総合計画と調和をとり、連携するものとして位置づけられる計画です。

また本計画は、社会教育委員の会における検討を踏まえ、今後南富良野町が目標とする新たな社会教育を実現するため、基本的な方向性と具体的な施策の展開方向を示すもので、社会教育の推進に重要な役割を果たすものです。

3 計画期間

本計画の期間は、令和5年度から令和9年度の5年間とします。

H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9

第8次計画策定年度

第9次計画策定年度

※ 計画の進捗状況や制度改革、地域情勢などが著しく変化した場合は、状況に応じて適宜見直しを検討するものとします。

4 計画の策定方法

(1) 南富良野町社会教育委員の会

本計画の策定にあたっては、教育委員会からの諮問を受け、社会教育及び家庭教育の関係者、学識経験者で構成される社会教育委員の会において検討し、答申しました。

(2) 住民アンケート調査の実施

本計画では、住民の様々な意見及びニーズを把握するため、住民アンケートを実施し、計画に反映する取り組みを行いました。

第2章 南富良野町の現状と課題

1 地域の現状

(1) 南富良野町の概要

南富良野町は、北海道のほぼ中央に位置し、空知川に沿って、北落合、落合、幾寅、東鹿越、金山、下金山という6つの地区から形成され、北は富良野市、東は新得町、南は占冠村、西は夕張市に隣接しています。

町域は、東西43.3km、南北45.9km、総面積665.52km²と広大で、そのほとんどが自然のままの豊かな森林となっています。

山間の地形のため、昼夜の寒暖の差が大きく、夏冬の季節温度の差が50℃を上回ることもあり、

また、冬期間の積雪も多く北海道の中でも大変厳しい気象条件にあります。

交通網は、東西に国道38号線、南北に237号線の主要幹線道路があります。JRは根室本線が幾寅駅から富良野市へ約40分、旭川市へ約2時間、札幌市へ約2時間30分で結んでいます。

農業を基幹産業として発展を遂げてきましたが、年々農業就業者数は減少傾向にあり、過疎化が進んでいます。

かなやま湖周辺は、釣りやカヌー、水上バイク等のスポーツやキャンプ、レクリエーションの場として、空知川流域はカヌー、ラフティングの場として最適なほか、町内では雄大な自然を背景に四季折々の変化に富んだ景観を満喫することができ、大自然と人間とのふれあいの魅力を心ゆくまで楽しむことができます。

平成元年9月には、「第44回国民体育大会カヌー競技」（はまなす国体）の開催地となり、同じ国民体育大会カヌー競技の開催地となった沖縄県本部町と、カヌーが縁で平成2年より児童生徒の交流事業が始まり、平成8年7月に友好の町として盟約調印を行い、子ども達を中心とした友好の輪を広げてきています。

さらに、平成11年1月にJR幾寅駅を舞台とした、高倉 健さん主演の東映映画「鉄道員（ぽっぽや）」のロケが行われ、今でも多くの観光客がロケ現場を訪れています。

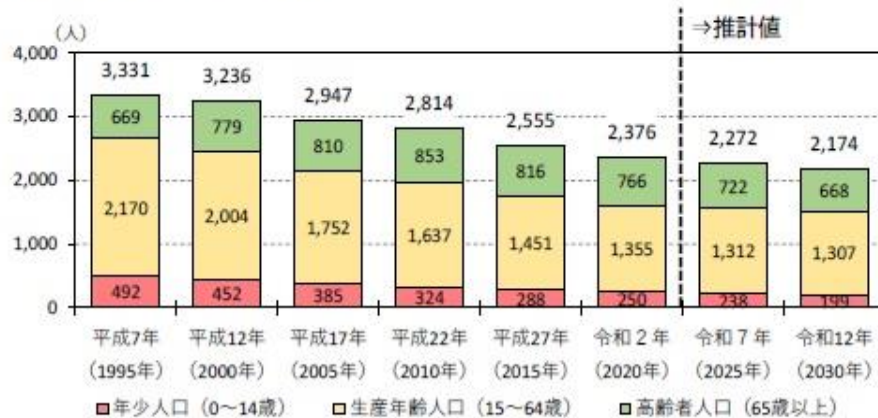


(2) 人口の推移と将来推計

国勢調査による本町の総人口は、昭和40年をピークに減少が続いており、令和2年には2,376人となっています。

合計特殊出生率(※19)及び平成27年と令和2年の国勢調査に基づいた人口の純移動率が将来も続くと仮定してコーホート要因法により将来人口推計を行ったところ、令和7年の総人口は2,272人、令和12年の総人口は2,174人と推計されます。

■総人口・年齢3区分別人口の推移



※総人口は年齢不詳を含む 資料:実績値/国勢調査、推計値/町独自推計

■年齢3区分別人口比率の推移



※人口比率は年齢不詳を除いた総人口から算出 資料:実績値/国勢調査、推計値/町独自推計

※19 合計特殊出生率

1人の女性が一生の間に産む子どもの平均数

2 生活課題

(1) アンケート調査の概要

本計画策定にあたり、町民一人ひとりが生涯学習を通して生きがいのある生活を送れるよう、生涯学習の観点に立って社会教育の推進を図る必要があり、策定の基礎資料とするためアンケート調査を実施いたしました。

(2) 調査対象

全町民の成人を対象に無作為で抽出しました。

(令和4年7月31日現在)

住民数	抽出者数	男性	女性
2,343人	300人	150人	150人

(3) 調査実施期間

令和4年12月1日～令和4年12月23日

(4) アンケート回収率

	全体	男性	女性
回答者	114人	61人	53人
回収率	38.0%	40.6%	35.3%

(5) 調査結果

資料編(P31～37)を参照

第3章 前期計画の評価・検証

第7次社会教育中期計画の評価と検証

A：概ね計画どおりの取り組みができた

B：十分ではないが取り組みができた

C：取り組みができていない

1 家庭教育

計画目標 学習機会の充実 子どもの望ましい生活習慣の定着

施策・事業名	事業内容	総合評価
生活リズムの定着	子どもたちがはつらつとした毎日を送ることができるよう、学校・家庭・地域と連携した「早寝早起き朝ごはん」運動の推進及び生活リズムチェックシートを活用し、子どもたちの生活リズムの向上を図る。	A
望ましい生活習慣定着事業 「子ども朝活事業」	学習・運動等を通して長期休業中における規則正しい生活習慣の定着と、学校・家庭・地域が一体となった取り組みの推進を図る。	A

計画目標 学習拠点の整備 家庭教育力(親育ち)向上の場づくり

施策・事業名	事業内容	総合評価
ちょっと一息雑談タイム (就学時健診時に実施)	就学時検診等の保護者が集まる機会を活用し、家庭教育に関する講演会や学習会を開催するとともに、親同士の交流機会の提供を図る。	A
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整え、学校教育の充実、生涯学習社会の実現、地域の教育力の向上を図り、放課後における子どもたちの安全な居場所づくりと併せ、学習や運動・交流活動等の機会を提供する放課後子ども教室の運営促進を図る。	A

計画目標 人づくりの推進 地域人材等の活用

施策・事業名	事業内容	総合評価
地域人材育成事業	地域のマンパワーを活用して、放課後子ども教室の学習・体験・交流・遊び等に取り組むことで、地域の人材育成を図る。	A

2 青少年教育

計画目標 学習機会の充実 青少年の体験活動

施策・事業名	事業内容	総合評価
友好の町沖縄県本部町との親善交流事業	南富良野町と本部町の児童が相互に訪問し、両町の文化・生活様式の理解及び体験学習交流の推進を図る。	A
南富良野町青少年体験活動	家庭教育サポート企業や総合型地域スポーツクラブと連携し、青少年が様々な野外活動を体験できる機会を作るよう図る。	A
少年の主張への参加	上川総合振興局管内「少年の主張」において、中学生が体験したことや考えていることを発表し、感受性を育むよう図る。	A
青少年の体験活動推進事業への参加	学習活動を通し、地域活動やまちづくりに参画する青少年活動リーダーを養成するよう図る。	A

計画目標 学習拠点の整備 学習環境の整備

施策・事業名	事業内容	総合評価
学習環境の整備	子どもたちが安全に様々な体験活動ができるよう、公民館や体育施設の充実に努め、体験活動の機会づくりの推進を図る。	B

計画目標 人づくりの推進 子ども会活動の支援

施策・事業名	事業内容	総合評価
子ども会育成連絡協議会	子ども会活動の活性化に向けて子ども会育成連絡協議会への支援を図る。	B

3 成人（成年）教育

計画目標 学習機会の充実 学びの場の提供

施策・事業名	事業内容	総合評価
二十歳を祝う会	新しい時代を担う新二十歳を祝福し、社会人としての責任を自覚していただくため二十歳を祝う会を挙げる。令和4年度より成人式から二十歳を祝う会に変更して実施。	A
公民館分館事業	各地区分館で各種講座、スポーツ、レクリエーション事業等を行うことで、各地区の特色を活かした活動の推進を図る。	B

計画目標 学習拠点の整備 社会教育施設の充実

施策・事業名	事業内容	総合評価
公民館	社会教育活動の拠点施設として、施設の充実に努め公民館分館施設を各自治会による指定管理とし、適切な管理運営を図る。	B

計画目標 人づくりの推進 地域ネットワークの構築

施策・事業名	事業内容	総合評価
地域ネットワーク構築事業	職域を超えた青年同士のネットワーク構築と地域活動を担える人材の育成を図るとともに、活動を行っている団体等への支援と連携した社会教育事業の推進を図る。	A

4 高齢者教育

計画目標 学習機会の充実 高齢者の学びの場

施策・事業名	事業内容	総合評価
千里（高齢者）大学	高齢者の学習の場として、高齢期の共通課題解決や地域の仲間づくり・自己の特徴・経験・能力を發揮し生きがい学習の場の提供を図る。	A

計画目標 学習拠点の整備 発表機会の促進

施策・事業名	事業内容	総合評価
高齢者学びの集い	上川管内高齢者学びの集いに参加し、学生自らが学んだことの実践発表ができるよう取り組みの促進を図る。	A
地域参加	地域イベントや町の行事等へ積極的に参加し、学生自らが学んだことの実践発表ができるよう取り組みの促進を図る。	A

計画目標 人づくりの推進 人材育成の推進

施策・事業名	事業内容	総合評価
千里（高齢者）大学を活用した人づくり	千里（高齢者）大学授業の講師に町内の心材を活用しながら、地域人材の育成推進を図る。	A

5 芸術文化の振興

計画目標 学習機会の充実 南富良野町の歴史・文化を知る・住民学びの場・芸術文化への触れ合い・図書事業

施策・事業名	事業内容	総合評価
史跡めぐり	既存の事業を活用しながら町内にある史跡をめぐり、郷土の歴史、文化に対する関心を深める活動の促進を図る。	B
文化財の保存・伝承	町無形文化財である幾寅獅子舞保存会の活動を今後も継続していくため、社会教育事業と連携しながら文化財に触れ合う機会づくりの提供の促進を図る。	A
英会話教室	英会話教室を通して、国際社会に対応した語学力とコミュニケーション能力の向上促進を図る。	B
住民自主企画活動支援事業	町民自らが企画した講演会等の事業に助成を行い、団体の活動促進や町民の学習活動の充実と拡充を図る。	A
北海道巡回小劇場公演 (舞台芸術公演)	舞台芸術にふれる機会の少ない児童の豊かな感性や個性を育むため舞台芸術公演を開催するよう図る。	A
北海道舞台塾公演	町民の豊かな感性を育み、多彩な文化芸術文化に触れる機会として、演劇公演を開催するよう図る。	A
読書活動推進事業	誰もが親しみやすい図書の充実に努めるとともに、地域ボランティアなどとの連携による、本にふれあう機会の充実に取り組みながら読書活動の促進を図る。	B
巡回図書の実施	公民館図書室から、各分館や学校等へ巡回図書を実施することで、町民の読書活動の推進を図る。	A
視聴覚ライブラリー事業	富良野地区視聴覚教育協議会が所有するビデオ教材を5市町村で定期的に巡回させながら、住民が利用しやすい環境整備を図る。	A
こども絵本まつりへの支援	子育て支援ボランティアサークルが主催するこども絵本まつりへの支援を行いながら、住民が本にふれあう機会の充実に努める。	A

計画目標 学習拠点の整備 図書室の運営・文化関係施設等の整備

施策・事業名	事業内容	総合評価
図書室の整備	町民が活用しやすい図書室となるよう、図書室の蔵書整理や環境整備・新刊等の情報発信を図る。	B
郷土資料室	郷土資料の収集・保存・展示の充実を図るとともに、新たな施設へ機能を移転させ、自由に誰でも見学できる施設整備を進める。	C

計画目標 人づくりの推進 活動支援

施策・事業名	事業内容	総合評価
文化団体等への支援	町文化協会等の関係団体との連携・協力を深め、住民による主体的な文化活動の支援を進める。	A

6 体育の振興

計画目標 学習機会の充実 スポーツの普及・振興

施策・事業名	事業内容	総合評価
町の特色を活かしたスポーツの振興	カヌー、カーリング等本町の特色を活かしたスポーツの更なる普及を図る。	A
スポーツ教室・大会	各種スポーツ教室・大会を実施するとともに、競技によっては、既存のスポーツ団体と重複することから、事業運営を移管・共催し、新たな種目の開催を検討する。	A
総合型地域スポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブと連携し、町民が様々なスポーツを体験できる機会の構築とアスリートやスポーツ指導者の育成を図る。	A
コーディネーショントレーニングの普及	学ぶ場と人材の育成を図り、コーディネーショントレーニングを活用した指導法の普及を図る。	B

計画目標 学習拠点の整備 体育施設

施策・事業名	事業内容	総合評価
町民体育館	スポーツ活動の拠点施設として指定管理による適正な維持管理を図る。同時に、総合体育館の新築についても検討する。	A
空知川スポーツリンクス	夏はカヌーやラフティングのアウトドアスポーツ、冬はカーリングの拠点施設として、指定管理による適正な維持管理を図る。	A
かなやま湖スポーツ研修センター	町の特色を活かしたカヌーの拠点施設として、指定管理による適正な維持管理と町民への普及や高校の部活動等、カヌーの普及・推進を図る。また、宿泊機能を有していることから、スポーツ合宿等の誘致を推進する。	A
町営湖畔野球場	野球・ソフトボール等、屋外スポーツ活動の拠点施設として、多くの住民の方に利用していただけるよう利用促進を図る。	A
学校開放事業	学校施設を住民に開放し、スポーツ活動及び文化活動の利用推進を図る。	A

計画目標 人づくりの推進 活動支援

施 策・事 業 名	事業内容	総合評価
スポーツ推進委員の活動	事業の実施や連絡調整、住民に対するスポーツの実技指導等を通して地域のスポーツの振興を図る。	A
アスリート派遣補助	町民が各種スポーツの全道、全国、国際大会等に出場する際に、派遣経費の一部を補助することにより、町民のスポーツ活動への意識の高揚と町内のスポーツ振興を図る。。	A
スポーツ団体への支援	体育協会、スポーツ少年団及び総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、地域スポーツの普及・推進を図る。	A

第4章 基本理念と目標

1 基本理念

過疎化や少子高齢化、核家族化による地域の連帯感の希薄化、情報化の進展など、社会環境が変化する中で、住民一人ひとりが、健康で生きがいのある豊かな生活を営めるよう社会教育の充実が求められています。

本町では、読書活動、千里（高齢者）大学、公民館分館活動など、幼児から高齢者までの各世代にわたり、また地域ごとの学習機会づくりを進めるとともに、住民自主企画活動支援事業により、住民の自主的な学習活動を促進し、多様化する学習ニーズに対応しながら社会教育の充実を進めてきました。

いつでも、どこでも、だれもが自由に学ぶことができる生涯学習社会の実現に向けて、公民館や図書室などの施設の充実と生涯学習活動を担う人材の育成、多様な学習機会の提供が必要です。

また、町内には、町民体育館や空知川スポーツリンクス、南ふらのスキー場などのスポーツ施設があり、各種大会やスポーツ教室が行われているほか、恵まれた自然を活用したカヌーやラフティングなどのアウトドア体験活動も行われています。

スポーツ活動は、健康づくりをはじめ、住民・親子・異世代の交流による地域コミュニティの形成、青少年の健全育成など多くの役割を担っています。

このことから、年齢に応じたスポーツの活動機会を得られるよう、体育協会や各種団体の活動支援と指導者の育成、総合型地域スポーツクラブとの連携が求められています。

さらには、文化協会が中心となって、多種多様な文化・芸術活動が行われており、今後とも、住民だれもが気軽に自主的な活動を行うことができる環境づくりを進めていく必要があります。

このように、地域に住む人々が様々な形で豊に生きがいを感じ「つながる」ことが必要とされている中で、社会教育を通して、全ての住民が生きがいを実感できる「つながり」を持ち、「新しい公共」の担い手として、地域課題や生活課題に積極的に向かい合い、自らの将来の夢や希望をしっかりと持ち、課題解決に向けた方策を一緒に話し合い実践していくことができる地域を作っていくため、次の理念に基づき社会教育活動を推進していきます。

基本理念

豊かな学びと生きがいを実感できるまち

2 計画の目標

基本理念を実現するために、本計画では次の4つの目標を掲げ、計画推進に積極的に取り組みます。

(1) 学習機会の充実

各世代に合わせた学びの場を充実させることで、いつでも、どこでも、だれもが自由に学ぶことができ、住民一人ひとりが、健康で生きがいのある豊かな生活を営めるよう社会教育を推進していきます。

また、学習の場を通して、住民同士の交流や情報交換、異世代交流等、世代を越えた連携を強化することで、人と人がつながることのできる地域を作ります。

(2) 学習拠点の整備

図書室や文化施設、体育施設等の町民が社会教育活動を行うための学習拠点を整備することで、社会教育活動を推進していきます。

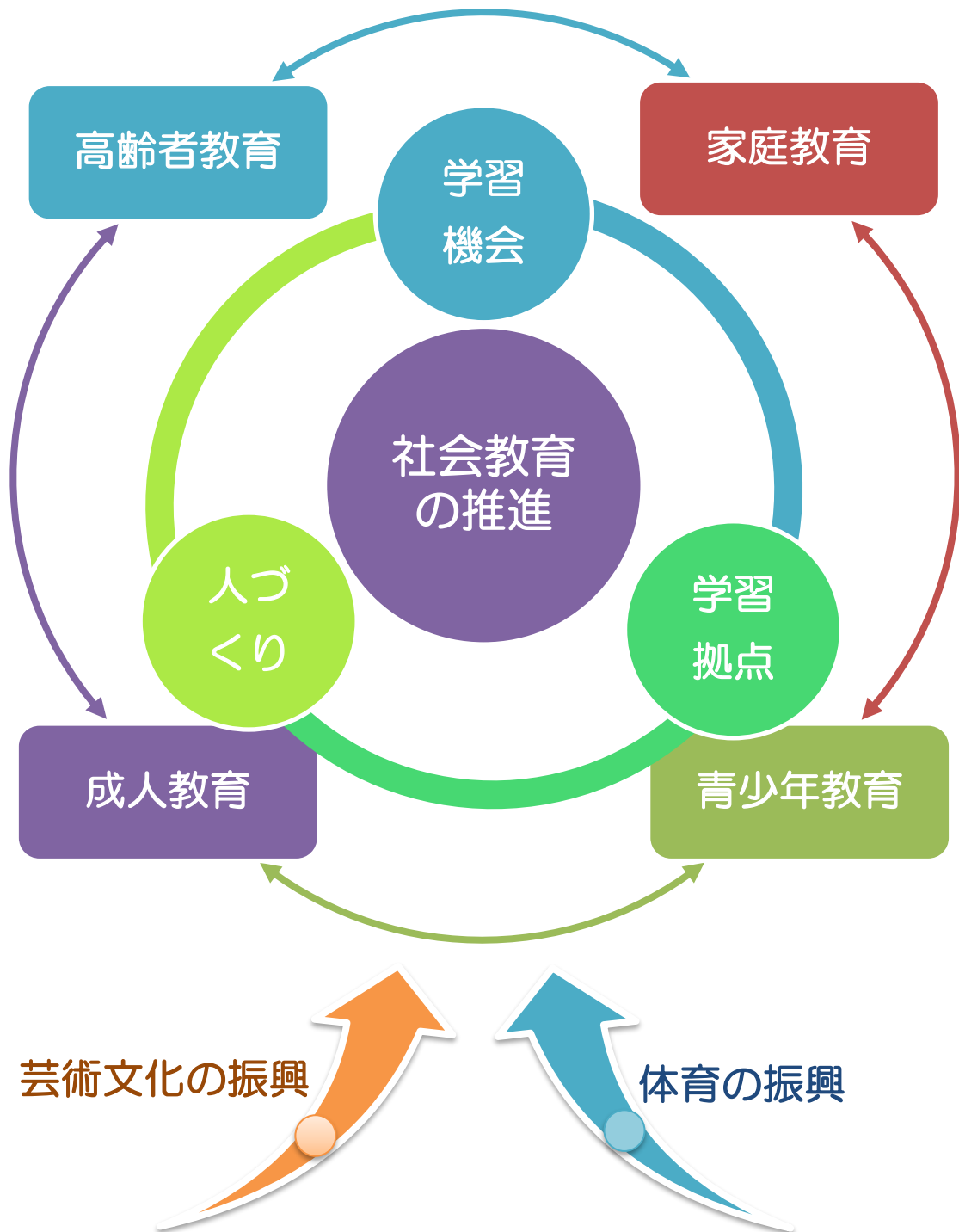
(3) 人づくりの推進

社会教育を推進するうえで、住民同士が学びあい、それぞれが意欲を高め、活動していく中で、南富良野町を知り、南富良野町で文化やスポーツに関する活動を進めていく必要があります。

計 画 の 体 系

基本理念

豊かな学びと生きがいを実感できるまち



第5章 計画の推進に向けた取り組み

1 家庭教育

【基本方針】

少子化、核家族化、地域における地縁的つながりの希薄化等により、家庭や地域の教育力の低下が指摘されており、これらを解決することが、社会全体で取り組まなければならない課題となっています。

また、家庭と地域は密接な関係を有することから、学校も含め、家庭と地域がそれぞれの役割を見直し、互いに協力し、教育力の向上に取り組むことが求められています。

本町においては、子どもたちの「家庭学習習慣の定着」と「望ましい生活リズムの定着」を目指し、親子で参加できる活動や大人が一生懸命になっている姿を子どもに見せることができるような活動を推進していきます。

【主な施策】 ◎ 重点事業 ○ 継続事業 ☆ 事業の検討・見直し

学習機会の充実

子どもの望ましい生活習慣の定着	5	6	7	8	9
生活リズムの定着 子どもたちがはつらつとした毎日を送ることができるよう、学校・家庭・地域と連携した「早寝早起き朝ごはん」運動の推進及び生活リズムチェックシートを活用し、子どもたちの生活リズムの向上に取り組めます。	○	○	○	○	○
望ましい生活習慣定着事業「子ども朝活事業」 学習・運動等を通して長期休業中における規則正しい生活習慣の定着と、学校・家庭・地域が一体となった取り組みを推進します。	○	○	○	○	○

学習拠点の整備

家庭教育力（親育ち）向上の場づくり	5	6	7	8	9
ちょっと一息雑談タイム（就学時健診時に実施） 就学時検診等の保護者が集まる機会を活用し、家庭教育に関する講演会や学習会を開催するとともに、親同士の交流機会の提供を図ります。	○	○	○	○	○
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	5	6	7	8	9
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整え、学校教育の充実、生涯学習社会の実現、地域の教育力の向上を図り、放課後における子どもたちの安全な居場所づくりと併せ、学習や運動・交流活動等の機会を提供する放課後子ども教室の運営促進を図ります。	○	○	○	○	○

人づくりの推進

地域人材等の活用	5	6	7	8	9
地域人材育成事業 地域のマンパワーを活用して、放課後子ども教室の学習・体験・交流・遊び等に取り組むことで、地域の人材育成を行います。	○	○	○	○	○

2 青少年教育

【基本方針】

子どもの頃の様々な体験が豊富な人ほど、大人になってからの生きがいやモラル、人間関係能力などの資質や能力が高い傾向にあることが示されています。

普段の友だちとの遊び、家の手伝いや地域活動などは、子どもたちの健やかな成長に大切なものです。

豊かな体験活動を通して、物事を成し遂げる喜びや自ら進んで困難に挑戦する意欲的な態度を育むことが重要となってきます。

そのため地域において、子どもが自由に選択して参加できる機会を作り、自然体験活動やボランティア活動などを通し、子どもが自分の良さを発見できる場を作る必要があります。

【主な施策】 ◎ 重点事業 ○ 継続事業 ☆ 事業の検討・見直し

学習機会の充実

青少年の体験活動	5	6	7	8	9
友好の町沖縄県本部町との親善交流事業 南富良野町と本部町の児童が相互に訪問し、両町の文化・生活様式の理解及び体験学習交流の推進を図ります。	○	○	○	○	○
南富良野町青少年体験活動 家庭教育サポート企業や総合型地域スポーツクラブと連携し、青少年が様々な野外活動を体験できる機会を作ります。	○	○	○	○	○
少年の主張への参加 上川総合振興局管内「少年の主張」において、中学生が体験したことや考えていることを発表し、感受性を育みます。	○	○	○	○	○
青少年の体験活動推進事業への参加 学習活動を通し、地域活動やまちづくりに参画する青少年活動リーダーを養成します。	○	○	○	○	○

学習拠点の整備

学習環境の整備	5	6	7	8	9
学習環境の整備 子どもたちが安全に様々な体験活動ができるよう、公民館や体育施設の充実に努め、体験活動の機会づくりを推進します。	○	○	○	○	○

人づくりの推進

子ども会活動の支援	5	6	7	8	9
子ども会育成連絡協議会 子ども会活動の活性化に向けて子ども会育成連絡協議会への支援と助言を行います。	○	○	○	○	○



友好の町沖縄県本部町との親善交流事業



町子連わかさぎ釣り体験

3 成人（成年）教育

【基本方針】

社会の一員として職場・家庭・地域において中心的な役割と責任を担っており、余暇時間の活用の仕方が重要となってきています。

ニーズの多様化や高度化により、多くの住民が一同に会しての学習が難しくなってきていることから、一人ひとりが豊かで充実した人生を築くため、学習要求に応じた様々な学習の機会が求められています。

人々が共に助け合い、共に生きる地域社会を作るため、家庭や地域を取り巻く様々な学習機会を充実していくことが必要です。

【主な施策】 ◎ 重点事業 ○ 継続事業 ☆ 事業の検討・見直し

学習機会の充実

学びの場	5	6	7	8	9
二十歳を祝う会 新しい時代を担う新二十歳を祝福し、社会人としての責任を自覚していただくため二十歳を祝う会を挙行政します。	○	○	○	○	○
自治会館利用事業 各地区自治会館で各種講座、スポーツ、レクリエーション事業等を行うことで、各地区の特色を活かした活動を推進します。	○	○	○	○	○

人づくりの推進

地域ネットワークの構築	5	6	7	8	9
地域ネットワーク構築事業 職域を超えた青年同士のネットワーク構築と地域活動を担える人材の育成を図るとともに、活動を行っている団体等への支援と連携した社会教育事業を推進します。	○	○	○	○	○



南富良野町二十歳を祝う会

4 高齢者教育

【基本方針】

南富良野町では、高齢化や核家族化、過疎化が進み、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加傾向にあり、本町に住み続けたいと考えている高齢者が多くいる一方で、やむなく転出される方もいる状況にあります。

このような超高齢化社会において、生涯をいかに豊かに充実したものとして生活できるかは、高齢者一人ひとりの問題であると同時に、地域社会の発展に関わる大きな問題でもあります。

千里(高齢者)大学を通して、高齢者の共通課題解決や地域の仲間づくり・自己の特性・経験・能力が発揮できるように生きがい学習の場を提供していきます。

【主な施策】 ◎ 重点事業 ○ 継続事業 ☆ 事業の検討・見直し

学習機会の充実

高齢者の学びの場	5	6	7	8	9
千里(高齢者)大学 高齢者の学習の場として、高齢期の共通課題解決や地域の仲間づくり・自己の特徴・経験・能力を発揮し生きがい学習の場を提供します。	○	○	○	○	○

学習拠点の整備

発表機会の推進	5	6	7	8	9
高齢者学びの集い 上川管内高齢者学びの集いにおいて、各町村の高齢者大学が一堂に会し、日ごろの活動内容を発表します。	○	○	○	○	○
地域参加 地域イベントや町の行事等へ積極的に参加し、学生自らが学んだことの実践発表ができるよう取り組んでいきます。	○	○	○	○	○

人づくりの推進

人材育成の推進	5	6	7	8	9
千里（高齢者）大学を活用した人づくり 千里（高齢者）大学授業の講師に町内の心材を活用しながら、地域人材の育成推進を図ります。	◎	○	○	○	○



授業風景



小学校との交流授業

5 芸術文化の振興

【基本方針】

本町では、南富良野町文化協会による芸能発表会の開催など文化活動が行なわれています。国の指定文化財の天然記念物として平成8年に「夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジュ帯」が指定されており、また、特別天然記念物の天然保護区域に指定されている「大雪山」国立公園を町域に有しています。

また、本町では、昭和40年に「幾寅獅子舞」を町の無形文化財に指定しており、保存・伝承活動を支援しています。

郷土の歴史・文化への関心を高め、郷土芸能の保存・伝承に努めるとともに、住民が文化や芸術にふれる機会づくりを進め、芸術文化活動の活性化と豊かな心を育みます。

【主な施策】 ◎ 重点事業 ○ 継続事業 ☆ 事業の検討・見直し

学習機会の充実

南富良野町の歴史・文化を知る	5	6	7	8	9
史跡めぐり 既存の事業を活用しながら町内にある史跡をめぐり、郷土の歴史、文化に対する関心を深めていきます。	○	○	○	○	○
文化財の保存・伝承 町無形文化財である幾寅獅子舞保存会の活動を今後も継続していくため、社会教育事業と連携しながら文化財に触れ合う機会づくりの提供に努めていきます。	○	○	○	○	○
住民学びの場	5	6	7	8	9
英会話教室 英会話教室を通して、国際社会に対応した語学力とコミュニケーション能力の向上を図ります。	○	○	○	○	○
住民自主企画活動支援事業 町民自らが企画した講演会等の事業に助成を行い、団体の活動促進や町民の学習活動の充実と拡充を図ります。	○	○	○	○	○
芸術文化への触れ合い	5	6	7	8	9
北海道巡回小劇場公演（舞台芸術公演） 舞台芸術にふれる機会の少ない児童の豊かな感性や個性を育むため舞台芸術公演を開催していきます。	○	○	○	○	○
文化・芸術公演の一般公開 町民の豊かな感性を育み、多彩な文化芸術文化に触れる機会として、文化・芸術公演を一般開催していきます。	○	○	○	○	○

図書事業	5	6	7	8	9
読書活動推進事業 誰もが親しみやすい図書の充実に努めるとともに、地域ボランティアなどとの連携による、本にふれあう機会の充実に取り組みながら読書活動を推進していきます。	○	○	○	○	○
巡回図書の実施 公民館図書室から、各分館や学校等へ巡回図書を実施することで、市民の読書活動の推進を図ります。	○	○	○	○	○
視聴覚ライブラリー 富良野地区視聴覚教育協議会が所有するビデオ教材を5市町村で定期的に巡回させながら、住民が利用しやすい環境整備に努めていきます。	○	○	○	○	○

学習拠点の整備

図書室の運営	5	6	7	8	9
図書室の整備 市民が活用しやすい図書室となるよう、図書室の蔵書整理や環境整備・新刊等の情報発信に努めていきます。また、図書貸出方法のデータ化を検討します。	○	○	○	○	○
文化関係施設等の整備	5	6	7	8	9
郷土資料室 郷土資料の収集・保存・展示の充実に努めるとともに、新たな施設へ機能を移転させ、自由に誰でも見学できる施設整備を実施します。	○	○	○	○	○

人づくりの推進

活動支援	5	6	7	8	9
文化団体等への支援 町文化協会等の関係団体との連携・協力を深め、住民による主体的な文化活動を支援していきます。	○	○	○	○	○



公民館図書室史跡紹介



舞台芸術公演



公民館図書室南富良野コ-ナ-



文化財審議会

6 体育の振興

【基本方針】

平成23年にスポーツ基本法が制定され、50年ぶりにスポーツ振興法が全面改定されました。この法律の前文に、「スポーツは国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもの」として謳われており、全ての人々がスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える活動に参画することのできる機会づくりが求められています。

スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものです。

また、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するもので、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠なものです。

本町においても、地域の特色を活かしたスポーツの推進を図るとともに、町民が様々なスポーツに関わることができる環境づくりとアスリート及び指導者の育成を推進していきます。

【主な施策】 ◎ 重点事業 ○ 継続事業 ☆ 事業の検討・見直し

学習機会の充実

スポーツの普及・振興	5	6	7	8	9
町の特色を活かしたスポーツの振興 カヌー、カーリング等本町の特色を活かしたスポーツの更なる普及を図ります。	○	○	○	○	○
スポーツ教室・大会 各種スポーツ教室・大会を実施するとともに、競技によっては、既存のスポーツ団体と重複することから、事業運営を移管・共催し、新たな種目の開催を検討していきます。	○	○	○	○	○
総合型地域スポーツクラブ 総合型地域スポーツクラブと連携し、町民が様々なスポーツを体験できる機会の構築とアスリートやスポーツ指導者の育成を図ります。	○	○	○	○	○
コーディネーショントレーニングの普及 学ぶ場と人材の育成を図り、コーディネーショントレーニングを活用した指導法の普及を図ります。	○	○	○	○	○

学習拠点の整備

体育施設	5	6	7	8	9
町民体育館 スポーツ活動の拠点施設として指定管理による適正な維持管理をしていきます。同時に、総合体育館の新築についても検討していきます。	○	○	○	○	○
空知川スポーツリンクス 夏はカヌーやラフティングのアウトドアスポーツ、冬はカーリングの拠点施設として、指定管理による適正な維持管理していきます。また、カーリング場の新設を踏まえた改修の検討もしていきます。	○	○	○	○	○
かなやま湖スポーツ研修センター 町の特色を活かしたカヌーの拠点施設として、指定管理による適正な維持管理と町民への普及や高校の部活動等、カヌーの普及・推進を図ります。また、宿泊機能を有していることから、スポーツ合宿等の誘致を推進していきます。	○	○	○	○	○
町営湖畔野球場 野球・ソフトボール等、屋外スポーツ活動の拠点施設として、多くの住民の方に利用していただけるよう利用促進を図ります。	○	○	○	○	○
学校開放事業 学校施設を住民に開放し、スポーツ活動及び文化活動の利用推進を図ります。	○	○	○	○	○

人づくりの推進

アスリートの育成	5	6	7	8	9
スポーツ推進委員の活動 事業の実施や連絡調整、住民に対するスポーツの実技指導等を通して地域のスポーツの振興を図ります。	○	○	○	○	○
アスリート派遣補助 町民が各種スポーツの全道、全国、国際大会等に出場する際に、派遣経費の一部を補助することにより、町民のスポーツ活動への意識の高揚と町内のスポーツ振興を図ります。	◎	◎	◎	◎	◎
スポーツ団体への支援 体育協会、スポーツ少年団及び総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、地域スポーツの普及・推進を図ります。また、部活動の学校運営体制から地域運営体制への移行に備える地域体制づくりを進めます。	◎	◎	◎	◎	◎



町民ソフトボール大会



町民フロアカーリング大会



町民ミニバレーボール大会



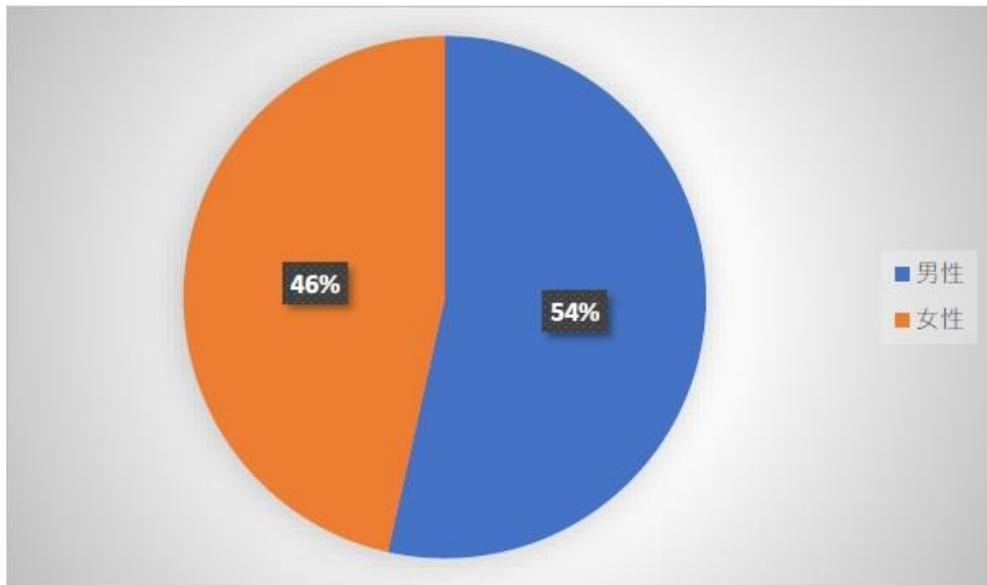
町民カヌー教室

資料編

南富良野町第8次社会教育中期計画アンケート結果

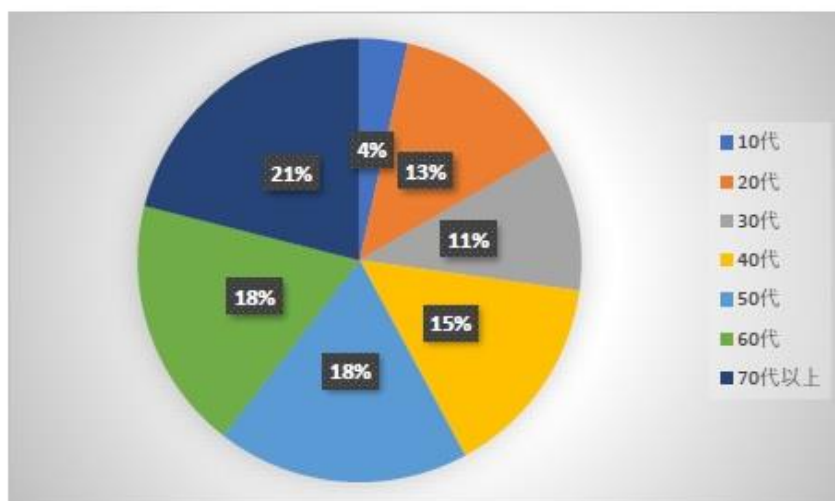
問1：回答者性別

男性	女性
61	53



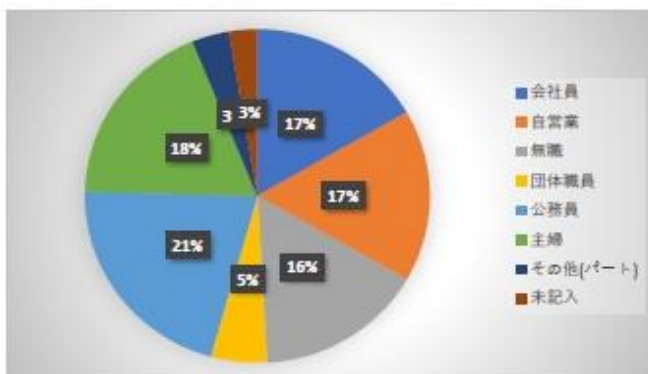
問1：回答者年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
4	15	12	17	21	21	24



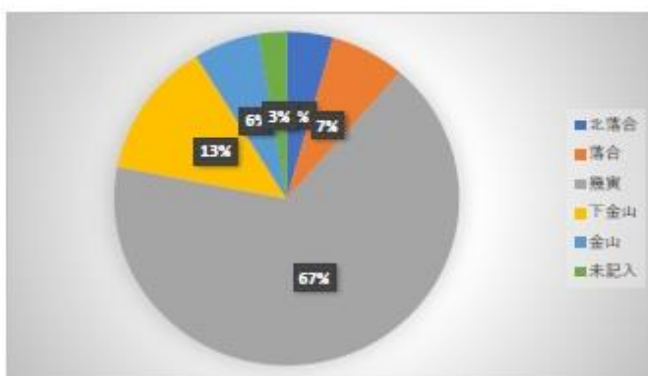
問1：回答者職業

会社員	自営業	無職	団体職員	公務員	主婦	その他(パート)	未記入
19	19	18	6	24	21	4	3



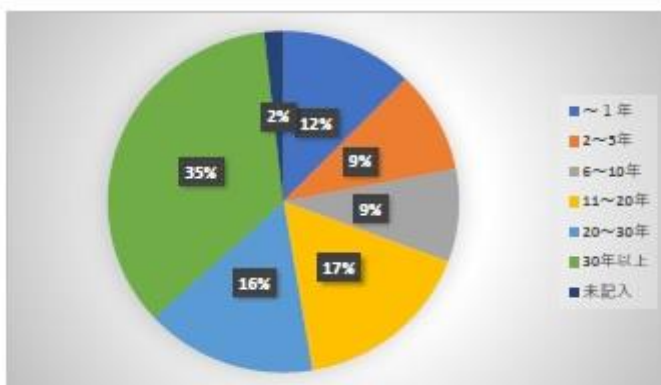
問1：回答者居住地区

北落合	落合	機寅	下金山	金山	未記入
5	8	76	15	7	3



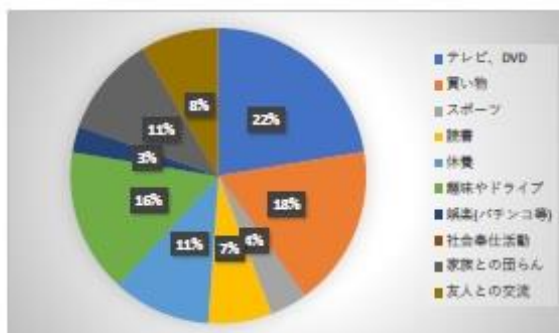
問1：回答者居住年数

～1年	2～5年	6～10年	11～20年	20～30年	30年以上	未記入
14	11	10	19	18	40	2



問2：あなたは余暇(自由な時間)をどのように過ごしていますか？

テレビ、DVD	買い物	スポーツ	読書	休養	趣味やドライブ	娯楽(パソコン等)	社会奉仕活動	家族との団らん	友人との交流
71	56	13	22	34	50	9	0	35	27



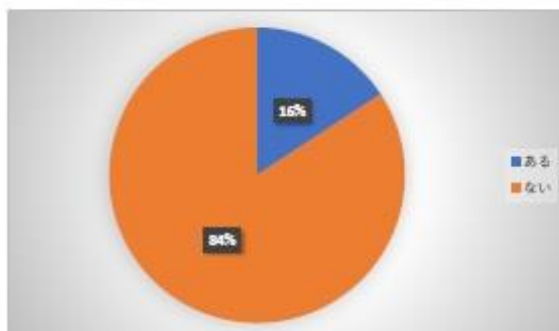
※コロナ禍もあり、テレビ等の家での活動割合が高くなっています。また、買い物、家族の団らんなどの割合も高いようです。

※その他回答

ネット(映画や動画)
仕事が見たい
花壇・家庭菜園
温泉、サウナ
寝る

問3：この1年間に町または教育委員会が主催する教室・講座・教育関係行事・スポーツ行事・その他に団体・サークル・個人などで参加(学習)したことがありますか。

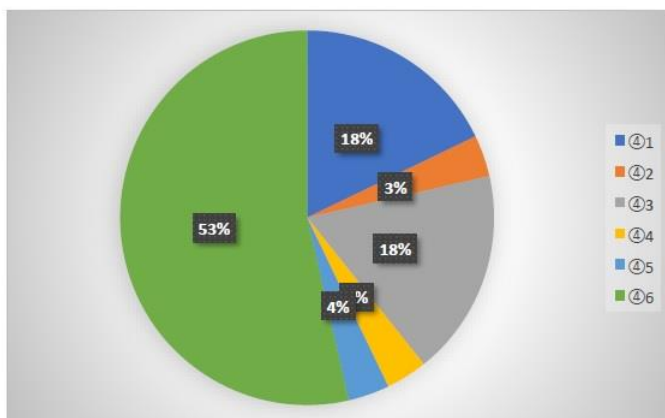
ある	ない
18	96



※コロナ禍もありますが、ほとんどの方が参加経験がない状態です。情報発信、講座等のニーズに答えた多様化が求められている状態です。

問4：「したことがある」と答えた方におたずねします。学習(参加)の主な内容はどのようなのですか。

④1	④2	④3	④4	④5	④6
5	1	5	1	1	15

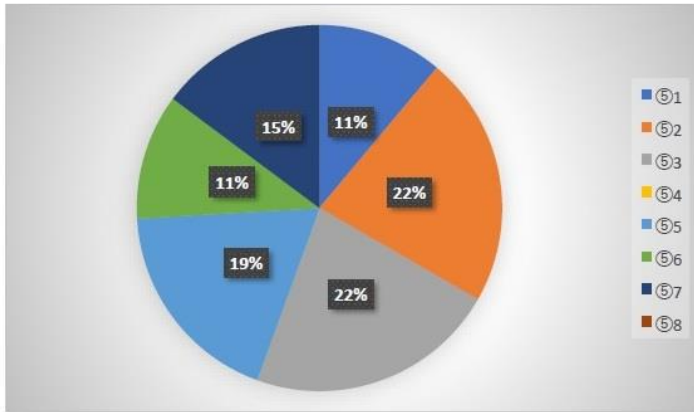


④1	料理、育児、福祉、年金、保健などの生活に関する事
④2	政治、経済、法律など社会生活に関する事
④3	地域づくり、ボランティア活動、環境問題など地域活動に関する事
④4	職業上(資格、パソコンなど)必要な知識や技能に関する事
④5	園芸、茶室、華道、書道、音楽、英語など趣味、芸術に関する事
④6	カヌー、登山、ラフティング、ソフトボール、ミニバレー、スキー、カーリング、自然体験など

※アウトドア等の野外活動の参加傾向が高い状態ですが、文化、芸術講座等の多様性が必要な状態です。

問5：問3で「したことがある」と答えた方におたずねします。主に誰と行きましたか。

⑤1	⑤2	⑤3	⑤4	⑤5	⑤6	⑤7	⑤8
3	6	6	0	5	3	4	0

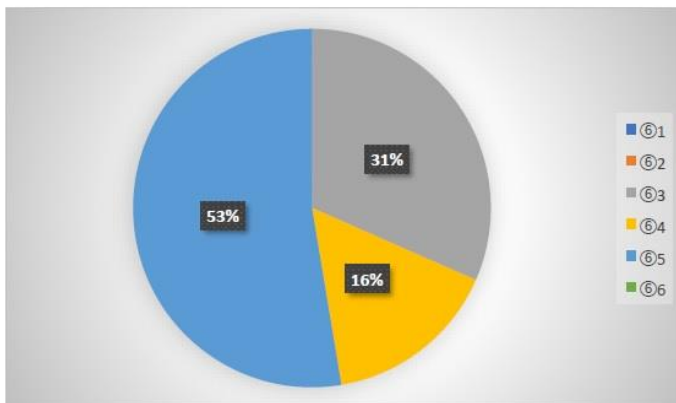


⑤1	同じ趣味の人と
⑤2	団体サークルの人と
⑤3	職場の人と
⑤4	隣り近所の人と
⑤5	友人、知人と
⑤6	家族と
⑤7	一人で
⑤8	その他

※仲間内、同じ職場の人と参加する傾向がある状態です。

問6：問3で「したことがある」と答えた方におたずねします。学習(参加)した回数はいくつぐらいですか。

⑥1	⑥2	⑥3	⑥4	⑥5	⑥6
0	0	6	3	10	0

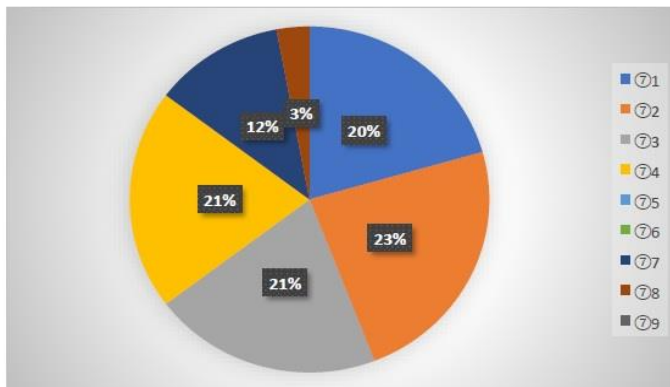


⑥1	週3回以上
⑥2	週1・2回程度
⑥3	月1・2回程度
⑥4	年3・4回程度
⑥5	年1・2回程度
⑥6	その他

※年に1、2回程度が割合的に高い状態です。

問7：問3で「したことがある」と答えた方におたずねします。主な動機は何ですか。

⑦1	⑦2	⑦3	⑦4	⑦5	⑦6	⑦7	⑦8	⑦9
7	8	7	7	0	0	4	1	0

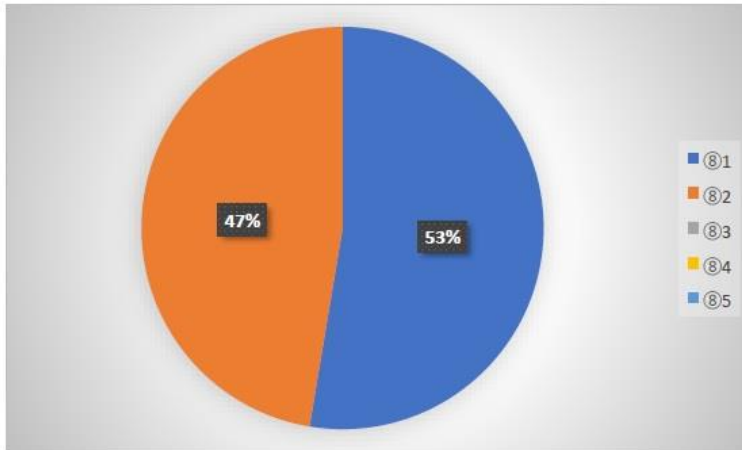


⑦1	健康、体力づくり
⑦2	趣味、娯楽のため
⑦3	仲間づくりのため
⑦4	知識、教養を得るため
⑦5	家庭生活をよりよくするため
⑦6	資格をとるため
⑦7	ボランティア活動のため
⑦8	職業、収入を得るため
⑦9	その他

※健康づくり、仲間づくりが多く、動機としては、社会的ないきがい求めている傾向があります。

問8：問3で「したことがある」と答えた方におたずねします。学習(参加)してみでの印象はどうでしたか。

⑧1	⑧2	⑧3	⑧4	⑧5
10	9	0	0	0

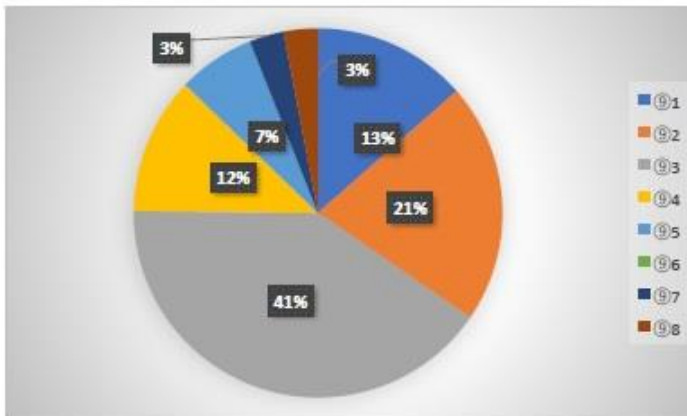


⑧1	大変良かった
⑧2	よかった
⑧3	あまりよくなかった
⑧4	よくなかった
⑧5	その他

※参加した方の満足度は高い傾向にあるので、社会教育イベントの周知と住民ニーズの把握が必要だと思われます。

問9：問3で「したことがない」と答えた方におたずねします。学習(参加)しなかった主な理由は何ですか。

⑨1	⑨2	⑨3	⑨4	⑨5	⑨6	⑨7	⑨8
18	28	54	16	9	0	4	4



⑨1	学習(参加)の必要性を感じない
⑨2	希望する内容の教室、講座などがない
⑨3	忙しくて時間がない
⑨4	学習(参加)する仲間がいない
⑨5	学習(参加)方法、内容がわからない
⑨6	学習(参加)方法の費用がかかりすぎる
⑨7	交通手段がないため
⑨8	病気または体が不自由なため

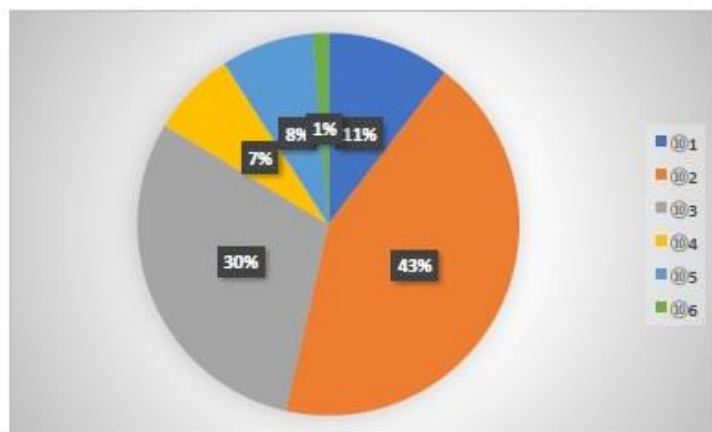
※その他回答

仕事がない
行事が重なった
知らなかった
他の団体にスポーツをしている
コロナ禍なので
知らなかった・確認したことがない
趣味を優先
コロナ禍

※コロナ禍もありますが、多忙な状態であるため参加できない割合が高いようです。参加しやすい時間帯などを再検討する必要があります。

問10：問3で「したことがない」と答えた方におたずねします。今後は学習(参加)しようと考えていますか。

⑩1	⑩2	⑩3	⑩4	⑩5	⑩6
16	66	46	11	12	2



⑩1	必要性を感じないのでしない
⑩2	関心のある内容であれば参加する
⑩3	時間があればする
⑩4	仲間に誘われればする
⑩5	学習(参加)の内容がわかればする
⑩6	興味が回復して元気になればする

※関心のある内容であれば参加すると答えた方の割合が高いため、住民ニーズの把握が必要だと思われます。

その他、ご意見ご要望ご感想などお聞かせください

仕事がしたい
コロナ禍のため自粛
交通手段があれば参加したい
砂金採取
カヌー ラフティング カーリング
どうして町内の移動が不便なのか？(デマンドバスは「幾寅はハイヤーがあるから」と使えない。公共機関は良いと聞いたが断られる。スクールバスは栄町～役場・みなくる行きがない。歩くと30分以上かかる。ちなみにハイヤーは700円ぐらいかかる。)
健康体力のために幾寅にパークゴルフ場が欲しい。
日ハム選との交流
今年はボランティア参加でとても楽しかった。南プだからできる自然体験また企画して欲しい。
北海道運歴史、アイヌ文化の智慧、裸足教育、スポーツ交流、冬場町内での運動促進(ジムのようなもの)
一人では続かないため健康維持のためのスポーツ(ハードなのは年と共にできないが体操、ヨガ、ストレッチが行われていること自体を知らなかった。今現在行われている教室棟の案内が同封されていると答えやすかつ
川や湖等釣り教室などがあれば参加したい
健康・体力づくり、仲間づくり
ゴルフ、麻雀講座
居酒屋メニュー料理講座
道の駅を活用したロッククライミングや料理体験など
体育館に筋トレ施設を導入して欲しい
カーリング、カヌー、サイクリング体験 スノーハイク、スノーシューツアー、施設見学(工場見学)、イトウの生育について

モルック
クリスマスツリー作り、DIY、漬物づくり
体操、ヨガ
日中は仕事、夜は峠を越えるのが苦痛。
パッチワーク、編み物、軽い体操
これからは時間があるときにいろいろ参加したい。
千里大学3年目。昨年は都合で参加できなかったが少しでも皆さんと楽しみたい。担当者の方は計画をありがとう。毎年同じ講義でなく新しい事に挑戦したい。子供たちとの交流も多くしたら良いのでは。
早くコロナが収まり皆さんと参加できますように
ボランティア活動
陶芸、フォークダンス
下金は農家が多いため日中は仕事、コロナ禍でリスクあり残念
コロナ禍で声を出せないが合唱もマスクなしそれなりの距離でしたい。旭川青少年科学館プラネタリウムに行きたい（千里大学生徒）
あまり参加できずすみません。
町の歴史について
感染症対策を十分に講じた活動を希望
「あなた」という人の送ってきた「道」を少しだけ調べ関心を高めることが大切ではないか。我町は人口が少ないのですよ。少ない人口を生かし、少しでも計画すること生き生きとした「町」「街」になるのではないですかね！
無料でピアノを弾きたい、無料でドローンを飛ばしたい（体育館など）、家庭菜園、肥料づくり、釣り、狩猟の手伝い、鹿狐の畑対策など
今後感染予防を気にせず生活が出来たら参加を考えたい

諮 問 書

令和4年9月1日

南富良野町社会教育委員
委員長 佐藤 秀博 様

次の事項について、社会教育法第17条第1項の規定に基づき、下記事由を付して
諮問します。

第8次南富良野町社会教育中期計画（令和5年度～令和9年度）

南富良野町教育委員会
教育長 鈴木 誠

諮問の事由

南富良野町は平成24年度に南富良野町第5次総合計画を策定し「共に創る 笑顔
で 生き生き みなみらの ー太陽と森と湖のまちー」を町づくりのテーマとし推
進してきております。

社会教育関係としては南富良野町第5次総合計画を受け、平成30年度から5年間
の南富良野町第7次社会教育中期計画を策定し、社会教育行政を推進してきましたが、
この第7次中期計画が本年度をもって終わろうとしています。

この間、南富良野町においても人口の減少、高齢化の進行に伴い社会教育関係団体
の活動の停滞も見受けられますし、急速な社会情勢の変化に伴う情報化、国際化の対
応など、多くの課題が山積している状況にあります。

今日の南富良野町の社会教育の現状と課題を明らかにする中から、今後の社会教育
行政の指針としていきたいことから、生涯学習の観点に立ち、現在策定中の第6次総
合計画との整合性を図りながら南富良野町第8次社会教育中期計画の策定を諮問い
たします。

答 申 書

南富良野町第8次社会教育中期計画の策定について

令和5年3月30日

南富良野教育委員会教育長 様

南富良野町社会教育委員長 佐藤 秀博

令和4年9月1日に諮問のありました「南富良野町第8次社会教育中期計画（令和5年度～令和9年度）」について、アンケートを実施して社会教育の現状と住民ニーズの把握を行い、これまでの5年間の事業評価と課題を分析しながら、今後の社会教育が目指すべき姿を検討してまいりました。

本計画は、南富良野町の特色を生かしながら、いつでも、どこでも、だれもが学習できる環境の整備とその成果を活用できる体制づくりを主眼に、学校・家庭・地域が連携した教育支援の促進、町民自らが主体となったより良いまちづくりを目指して、令和5年度から施行される「南富良野町第6次総合計画」との整合を図りながら策定いたしました。

つきましては、本町の社会教育が一層推進されることに期待し、別紙のとおり答申いたします。

第8次社会教育中期計画策定委員会

南富良野町社会教育委員の会

	氏名	推薦団体	備考
1	委員長 佐藤 秀博	南富良野町スポーツ協会	
2	尾崎 雄一	南富良野町校長会	
3	三浦 宏幸	南富良野町校長会	
4	永井 洋平	南富良野町PTA連合会	
5	大竹 淳	北落合連合会	
6	新野 和也	落合連合町内会	
7	柴谷 一雄	金山民主会	
8	永井 元勝	下金山自治連合会	
9	鈴木 貴史	学識経験者(福祉教育、青年活動)	
10	高橋 紀代美	学識経験者(主任児童委員)	

編集・発行

第8次南富良野町社会教育中期計画

令和5年3月

南富良野町教育委員会

電話 0167-52-2145

所在 北海道空知郡南富良野町字幾寅